

「はしっくす」 2009-2011
-これまでの活動-

旭川ウェルビーイング・コンソーシアム
学生自主組織 はしっくす
佐藤 裕基



本日の内容

1. 平成21年～平成22年の活動
2. はしっくすの活動の立て方
3. はしっくすの活動効果
～『社会人基礎力』の醸成～
4. はしっくすの活動効果
～『社会への発信と効果』～

はしっくす設立の経緯・目的

1. 学生・若者の視点からの地域貢献
2. 学生・若者の意見を社会に適切に反映してもらう
3. 「社会人基礎力」を学生のうちから養う
4. 将来、地域に貢献できる人材として成長する
5. 専門に偏らない広い人間性をもつ
6. 他校の学生と交流することで、効率的な学生企画を行う

はしっくすの活動1(2009年)

- 2009.4.5
 - 設立会議(第1回会議)
(旭川大/短大1、東海大2、
医大1、教育大3)
- 2009.5.~7.
 - 体制づくりと企画の策定
- 2009.10.30
 - HI・RO・BAオープン
- 2009.11.7
 - 【はしっくす 第1回目WS】
「地域から水問題を考えよう！」

- 2009.9~
 - 【メディア旭川】
記事執筆開始
- 2009.11.28
 - 【はしっくす主催初イベント】
学生による学生のための
学校発見フェスタ
~未来の自分を発見しよう~
- 2009.12.~
 - 【全道連携事業会議】
全道連携ゴミ拾い会議

はしっくすの活動2(2010年)

- 2010.4.
新入生歓迎！
旭川市街地まち歩きツアー
- 2010.5.17.
【全道連携ごみ拾い活動】
(東神楽町、札幌、江別との
共同企画)
- 2010.6.26-27.
【あさひかわミュージックフェスタ】
(大道芸フェスティバルと共催)
- 2010.6.5, 2010.6.20.
【AYEF報告会】
- 2010.7.18.【ワークショップ】
- 2010.9.18-19
【学生による学生のための
キャンパスフェスタ】
- 2010.7.25、2010.10.17
【プロジェクトWET
エドゥケーター講習会】
- 2010.10.10
【旭川新駅舎 開業イベント】
(モザイクアートの作成：
旭川市駅周辺開発課との協働)
- 2010.12.12～25.
【水環境に関するパネル展示】
(旭川地域商品券「ワッカ」
利用推進企画)
- 2010.12.24-25.
【「あったかいね あさひかわ」
～つなげよう灯のわ～】
(市民企画提案による協働まちづくり事業)
- 2011.2.26.
【あさひかわ少年少女雪かき隊】

はしっくすの規模 【2009-2010の比較】

ワークショップ数



イベント数



部員数



「はっくす」活動の特徴

～仲が良いので出来ること～

常に開放的であること

- 他者を否定せず、異なる考えを受け入れる

議論のテーブルは常に存在する。(門前払いはしない)
必ず議論して結論を出す。

上下関係が無いこと

- 後輩が先輩に意見できる

良いと思うこと、まずいと思うことは全体で共有。議論のテーブルでは誰もが平等。

情報が同じレベルで隅々まで、しかもup-to-dateに共有されている

活動に来られない→情報に疎くなる→やる気が無くなるというサイクルを止める

常に使命感とやりがい(目的意識)を見つけるよう心がけている

いつでも活動に前向き、常に真剣勝負。時には厳しい意見も互いに交わす。

はしっくすによる教育的効果について

-私たちの企画の進め方とともに-

1. 企画提案
2. 企画書作成
3. (企画書修正)
4. プロジェクトの可否の最終決定

Phase1 【企画・立案段階】

- 企画のイメージは？
- 企画が行うべきか、行えるか？
- 企画に対する実効性を検討する
- 企画の具体性の確定

5. プロジェクトスタート
6. プロジェクト完成・実行
7. 反省

Phase2 【具体的に「動く」段階】

- 問題点の解消
- 「本番」までの準備
- 「本番」のリスクを低減させる

Phase3 【反省】

- 次の取り組みへ向けた反省
- 良かったところ、悪かったところを明確に

【Phase1】 企画提案～プロジェクト最終決定

1. 企画提案

- ・企画のイメージを担当者が口頭プレゼンテーション
- ・はしつくすが行うべきこととして適切か？

2. 企画書作成

- ・具体的に文章の形で企画を提案
- ・日時・規模などを検討

3. 企画書修正

- ・2.の議論で必要とされた修正点を加える
- ・人員・協力団体などの策定
- ・プロジェクトチームの策定

4. プロジェクト最終決定

- ・プロジェクトチームの決定と企画スタート
- ・責任と役割分担を明確にする

【Phase2】プロジェクトスタート～完成・実行

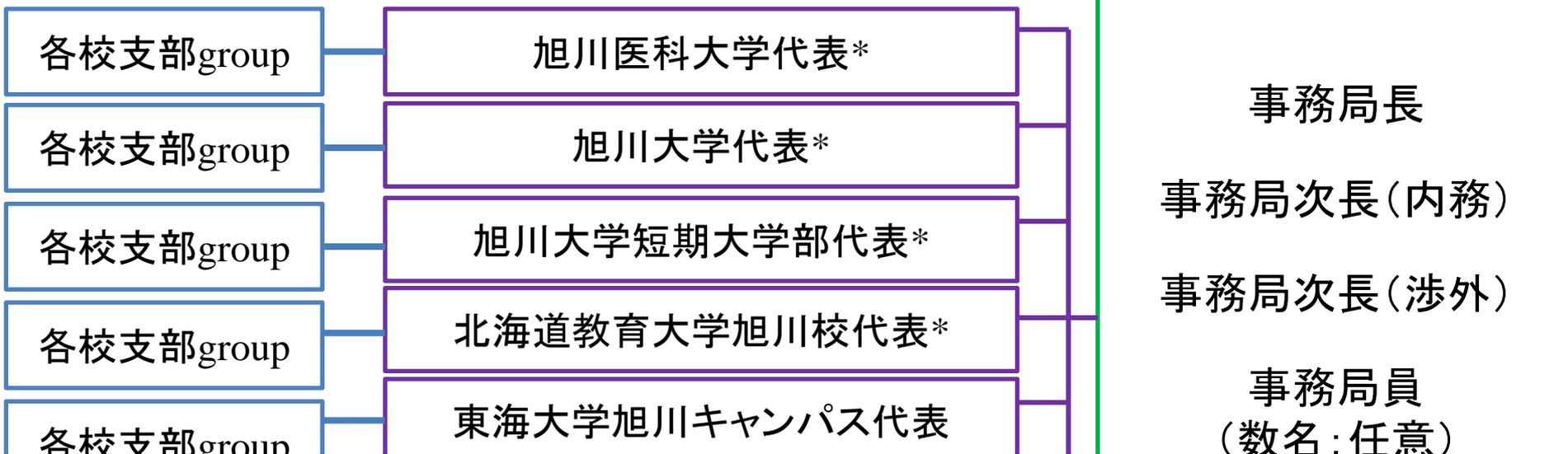
5.プロジェクトスタート(準備)

- ・企画案の分担に基づいてプロジェクトを進める
(広報、物品、協力依頼、雑務、内務、会計など)
- ・トラブル/リスクの低減と克服
- ・役割と責任の所在を明らかにする
- ・Mailing List、Online Server (Skydrive)などを用いてup-to-dateな情報共有を目指す

6.プロジェクト完成(本番)

- ・スタッフのシフトを調整
- ・予想しうるトラブルを予め防止する
- ・リスクマネジメントを動的な面/ 静的な面
双方から考える

情報共有



- ① 組織内で、情報の広がり「ムラ」を作らない
Ex.)『〇〇さんは聞いているけど、私は聞いていない』
- ② 例え会議に参加できない場合でも「情報弱者」にならないようにする
- ③ 組織の隅から隅まで同じレベルの情報を共有できるようにする

【Phase3】 反省～次回のプロジェクト

5.反省

- ・アンケート集計結果、フリーコメントを皆で協議
- ・スタッフ間での改善点の議論

- ・次回に向けた組織体制の見直し
- ・今後のプロジェクトの方向性
- ・新しい活動を考える

6.次回のプロジェクト

- ・ 次の企画へ
例)
「新入生街歩き」(4月)→
→「あさひかわ ミュージックフェスタ」(6月)→
→「旭川駅開業イベント」(10月)

「はしっくす」活動でのみ身につく“**社会人基礎力**”

1. プレゼンテーション能力

- 自分のいいたいことを分かりやすく他者に伝える力

2. 文章力

- 企画書の作り方(文章で『やりたい事』を伝える)
- フォーマル・レターの書き方

3. 調整力

- 多学校間での日程・作業の調整
- 関係団体との交渉

4. 忍耐力・克服力

- 実現に向かって地道に努力する力、否定されても諦めない力
- 企画実現に到るまでの長い過程のストレスに打ち克つ

5. 礼儀とマナー

- お礼状・依頼のお願い

6. 反省力

- 自己満足では終わらない、常に考えながら行動する姿勢
- 企画・組織の継続性と連続性の担保

「調整力」、「忍耐カ・克服カ」が身についた具体例

・「ミュージックフェスタ」

－ 複数校にまたがる音楽系団体(計12団体)のニーズに細かく対応

- ・ 軽音楽
- ・ 吹奏楽
- ・ ヨサコイ
- ・ Jazz・バンド

多様な団体のニーズに対応する力の養成

・「水環境に関するパネル展示」

－ 計10団体の展示場所、パネルの印刷や、送付・返却法に対する対応

・「あったかいね あさひかわ ～つなげよう灯のわ～」

－ 企画に関わる複数の関係団体との連携

- ・ 男山酒造(甘酒)
- ・ 旭川市(共同企画者)
- ・ まちなか交流館
- ・ 各はしつくす支部との連携(「あさひかわの良いところ」写真撮影)
- ・ 旭川観光協会 など

社会への発信

1. 市の諮問会議への参加

1. 旭川市 平成22年度 総合計画推進委員(土岐圭佑)
2. 旭川市 平成23年度 旭川地域自治検討会議

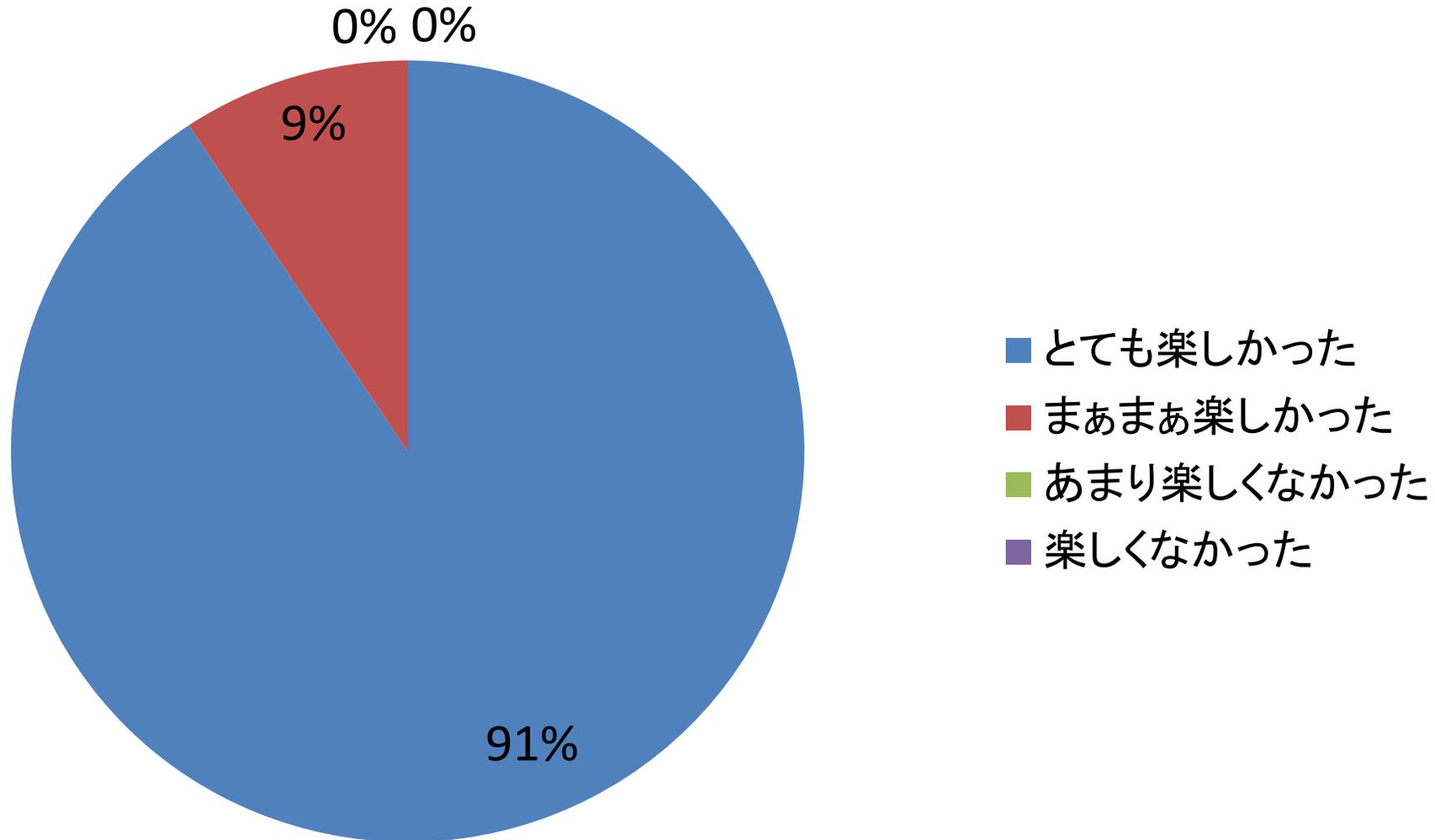
2. メディア・各種雑誌への投稿

1. 「メディアあさひかわ」への連載
2. 雑誌投稿 (佐藤裕基、土岐圭佑、鈴木美紗.
旭川エリア合同学生自主組織「はしっくす」に関して.
旭川医科大学研究フォーラム11:130-132, 2010.)

3. 企画を通じたアンケート調査

「あったかいね あさひかわ～つなげよう 灯火のわ～」 アンケート集計結果(1)

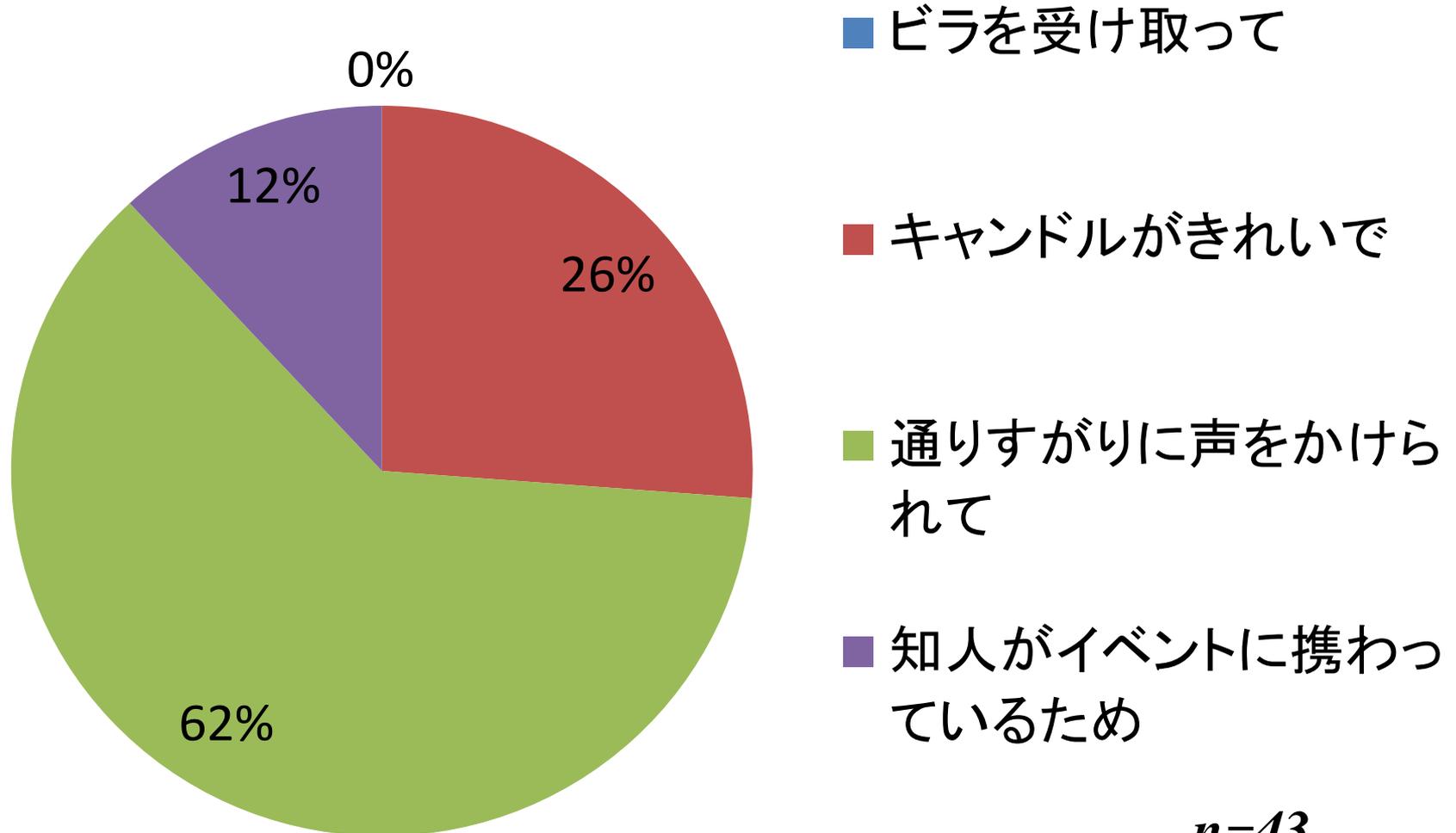
イベントは楽しかったですか



n=43

「あったかいね あさひかわ～つなげよう 灯火のわ～」 アンケート集計結果(2)

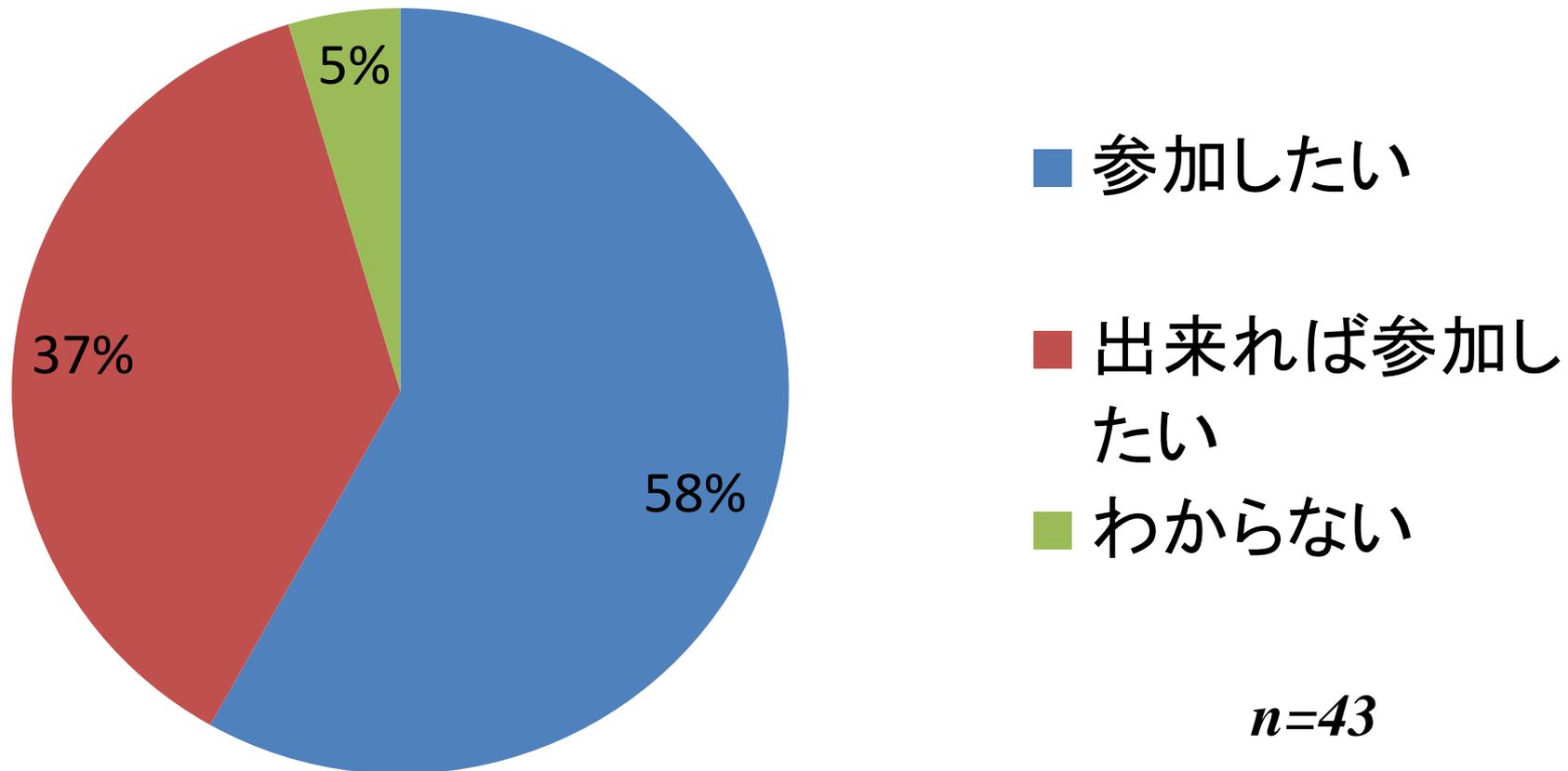
参加された理由は何ですか。



n=43

「あったかいね あさひかわ～つなげよう 灯火のわ～」 アンケート集計結果(4)

今後このようなイベントがあれば
参加したいですか。



「あったかいね あさひかわ～つなげよう 灯火のわ～」

Free Comments

- 地域に何かできてよかった。
- 初めてだったが簡単で楽しかった。
- キャンドルは買物公園にふさわしかった。
- とてもきれいだったのでまたやってほしい。
- 作りたくてもこのような機会がなければ作らなかった。
- 気軽に体験できてよかった。
- 旭川の厳しい冬の街に温かい彩りを感じた。
- 寒い地方ならではの企画でいいと思った。
- 見ていて幸せな気持ちになった。ずっと続けてほしい。
- 周りをもっと暗かったらもっときれいだったのでは。
- アイスキャンドル、ボールキャンドルなどを加えてみては。
- プリン・コーヒーゼリーなどのカップを使用してみては。

感謝のお便り

先日はありがとうございます。ごさいました。
千葉から観光で御世話になったものです。
子どもたちは大興奮で寝言でも楽しんでいましたようです。
娘からお手紙を書きたいという要望がありましたので
送信させていただきます。

■ たのしかったよ。またらいねんもやりたいです。

P.S.

息子は翌日に「お姉さんたちいないの？」
寂しげでした。